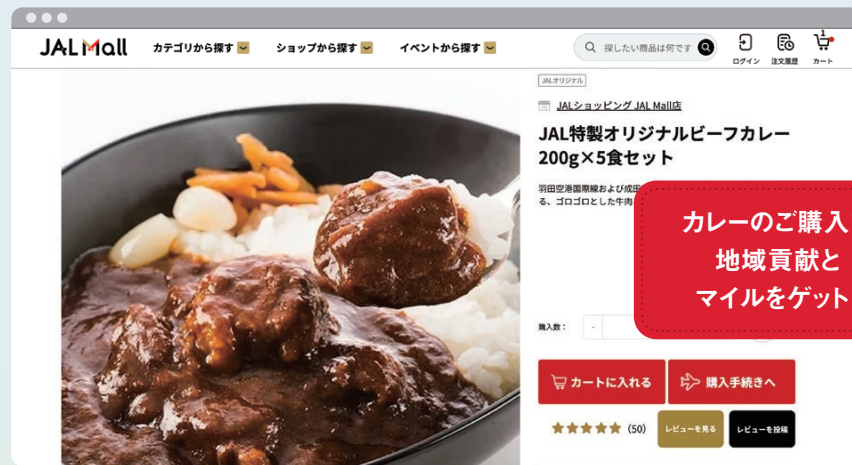


＼お買い物を通して日本の森を豊かに！／



※画像は開発中のイメージで、実際の商品ページとは異なります。



1.三重県尾鷲市の森から、ブリが有名な九鬼浦と太平洋の絶景を望む。2.尾鷲のプロジェクトを応援するJALUXの富木田(左)と今井。3.4.尾鷲市管轄の「みんなの森」を、多様な樹種が共存する混交林へ造り変え、生態系の改善を目指す。



本気で環境や未来をよくしようとする売り手を選んで投票することで、地球環境や地域が豊かになることを感じてほしいです」と、paramitaの林篤志さんは話します。

尾鷲の森を未来へ

三重県尾鷲市は、黒潮が流れる熊野灘に面した豊かな漁場であるとともに、市域の9割超を占める山林には、世界遺産の熊野古道が通り、一帯は良質な「尾鷲ヒノキ」の産地として知られています。尾鷲ヒノキは国内有数の雨量に加え、きめ細かな森林管理によって品質を保ってきました。しかし現代では国産木材の需要や管理者の減少で、この森の維持は困難になっています。尾鷲市は2022年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、22世紀に向けた森づくりを始めました。森を間伐し、土壌改良を行い、山・川・海までを包括的に再生する先進的な取り組みです。尾鷲市水産農林課の芝山有朋(しばやまありとも)さんは「市有林の『みんなの森』に、鳥や虫の

**JALグループが目指す
買い物を通じた社会貢献**

JALUXの富木田美緒と今井健太は、尾鷲の取り組みを応援する熱い思いを、こう口にします。

「見上げるような尾鷲ヒノキの森の中で、静かな川のはじまりと、眼下に広がる美しい海を目にしました。街では脂の乗った絶品のブリをはじめとした海産物をおいしくいただき、森・川・海のつながりに思いを巡らせ、森林保全の大切さを実感しました。まずは多くの方にこの取り組みを知っていただき、ゆくゆくは、現地に行ってみよう」と思っていただけなら嬉しいですが、

豊かな地球を次世代へつなぐため、JALグループはこれからも、お客さまとともに邁進してまいります。

※別途、お客さまによるSINRAへの情報登録が必要です。

尾鷲を応援する
JALショッピング
はこちら



JALが取り組む新しい空への挑戦を皆さまにお伝えします

Embrace your
Challenges **JAL**

JALショッピングのお買い物で地域に貢献

カレーで豊かな森づくり!?

Regenerative Village

**環境と社会にやさしい
企業を目指して**

JALグループにとって環境や社会に配慮したESG経営は、価値創造や成長実現のための最上位の戦略です。航空運送事業では省燃費機材への更新やSAF(持続可能な航空燃料)の活用、運航の工夫などを通して、CO₂排出量の削減などに取り組んでいます。こうした環境負荷低減の取り組みをさらに身近な分野でも行えないかと、JALUXは今年2月、お買い物を通して環境に配慮したアクションを取れるオプションを、JALショッピングの一部商品に導入しました。同店で売り上げ1位を誇る『JAL特製オリジナルビーフカレー』のご購入時に、追加で500円お支払いいただくと、収益の一部が三重県尾鷲市の森林保全と再生に役立てられ、さらに生物多様性の保全にもつながる取り組みです。

尾鷲の豊かな森づくりに貢献いただいた方には50マイルが付与される他、提携しているparamita社の「SINRA」プロジェクトから、貢献の証明となるデジタルアートの進呈されます。また、応援した活動の進捗がお客さまに届きます(※)。

「『買い物』という消費行動は、未来に向けた最も身近な『投票』行為です。